

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属 リハビリテーション学院	昭和54年4月4日	野浪 敏明	〒465-8620 名古屋市名東区梅森坂五丁目101番 (電話) 052-801-1157				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
独立行政法人 国立病院機構	平成16年4月1日	桐野 高明	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2丁目5番地21号 (電話) 03-5712-5050				
目的	理学療法士又は作業療法士として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る人材を育成する						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	作業療法学科	平成6年文部大臣 告示第84号	—			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3465	1695	210	1560	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
60人	62人	6人	100人	106人			
学期制度	■1学期：4月1日～9月30日 ■2学期：10月1日～3月31日		成績評価	■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 単位制：優(E)良(G)可(P)不可(F) 詳細は学則第18条参照			
長期休み	■学年始め： ■夏季：6週間 ■冬季：2週間 ■学年末：2週間		卒業・進級条件	単位制のため進級条件はなし。卒業条件は学則17条に定める授業科目の単位修得の認定を受けた者			
生徒指導	■クラス担任制：有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席理由により担任及び教育主事による個別指導		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動：有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 独立行政法人国立病院機構施設、病院 ■就職率 <sup>※1</sup> ：90.5% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> ：90.5% ■その他 (平成26年度卒業者に関する平成27年5月1日時点の情報)		主な資格・検定等	作業療法士国家試験受験資格 専門士(医療専門士)の称号 大学への編入資格			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 1.5% 平成26年4月1日 在学者 65名 (平成26年4月1日 入学者を含む) 平成27年3月31日 在学者 64名 (平成27年3月31日 卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更のため ■中退防止のための取組 担任及び教育主事による個別指導および学生保護者との面談						
ホームページ	URL: <a href="http://www.gakuin.tomei-nho.jp/">http://www.gakuin.tomei-nho.jp/</a>						

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

指定規則に則り、当学院の理念から教育課程が編成されている。社会情勢の変化に対応し、より実践的かつ専門的な教育課程を編成すべく、教員会議において検討を重ねるとともに、教育課程編成委員会において、福祉施設・教育機関・職能団体・病院等に所属する委員と意見交換を行い、教育内容や教育方法の改善を図る。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年8月24日現在

名前	所属
長屋 政博	介護老人保健施設ルミナス大府 施設長
米澤 久幸	中部大学生命健康科学部 教授
稲垣 毅	愛知県作業療法士会会長 / JA愛知厚生連海南病院
渡邊 潤子	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 理学療法士長
山内 邦夫	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 作業療法士長
井上 和哉	独立行政法人国立病院機構 東尾張病院 作業療法士長
服部 みゑ	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 看護部長
大西 靖	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 理学療法士長
藤部 百代	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院 作業療法士長
野浪 敏明	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 学院長
小川 賢二	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 副学院長
岩佐 和久	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 事務長
近藤 登	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育主事
輿 登貴子	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育主事
棚瀬 智美	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育教員
高瀬 三貴子	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育教員
深谷 真知子	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育教員
水野 準也	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 教育教員
廣内 雅樹	独立行政法人国立病院機構 東名古屋病院附属リハビリテーション学院 事務主任

(開催日時)

第1回 平成26年12月22日 16:00～17:00

第2回 平成27年3月12日 15:00～16:00

第3回 平成27年9月4日 16:00～17:00

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

作授業科目に含まれる実習に関しては、学内での講義による学習・事前準備を経て、実習病院・施設で実習を行う。実習中は実習担当者が指導し、同行した担当教員も学生の実習状況を把握する。臨床実習に関しては、必要な科目の履修を経て、実習病院・施設で実習を行う。実習期間中は、実習担当者の指導と合わせて、担当教員が訪問・電話連絡等による状況確認を行い、連携して学生の学習成果の向上に努める。

科目名	科目概要	連携企業等
作業療法評価学Ⅰ	作業療法評価技法のひとつである「観察」について学びながら、対象者の観察とその記録を経験することを目的として、精神科病院の作業療法プログラムに参加し、観察と記録の体験をする。	国立病院機構東尾張病院
地域作業療法学演習	作業療法におけるレクリエーションの対象及び目的・実施方法について学びながら、高齢者を対象としたレクリエーションの計画・準備・実施を経験することを目的に、介護老人保健施設において、担当作業療法士の指導の下、実習を行う。	日進老人保健施設
臨床実習Ⅰ	身体障害、精神障害、発達障害の各分野において、基礎医学の知識をもとに障害を持つ人々に接しその身体面、心理面及び社会面等について理解を深めるとともに、種々の臨床現場を見学することにより、その機能及び組織を理解する。これらをふまえ、作業療法の流れ及び役割を把握する。	実習病院
臨床実習Ⅱ	身体障害、精神障害の2分野において、臨床場面で対象者の情報を収集し、それらを整理・分析・統合・解釈したうえで治療計画策定までの一連の流れを経験し理解し、作業療法士としての知識、技術を高めることを目的とする。	実習病院
臨床実習Ⅲ	身体障害、精神障害、発達障害もしくは老年期障害の3分野において、既習の専門基礎知識と技術を臨床の場において統合し、患者のニーズに結びつけて援助する能力を習得する。また作業療法士としての医療人・職業人としての素養および自覚を養う。	実習病院、実習施設

### 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

国立病院機構の理念に基づき質の高い臨床研修、教育研修の推進を行うとともに、国立病院機構職員研修規程に則り、教員の授業内容・教授方法の改善並びに向上を目的とした研修を実施する。さらに教員の専門知識・技術の向上のために学会や研修会への参加を奨励する。

### 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年8月24日現在

名前	所属
長屋 政博	介護老人保健施設ルミナス大府 施設長
米澤 久幸	中部大学生命健康科学部 教授
稲垣 毅	愛知県作業療法士会会長 / JA愛知厚生連海南病院
渡邊 潤子	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 理学療法士長
山内 邦夫	独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 作業療法士長
井上 和哉	独立行政法人国立病院機構 東尾張病院 作業療法士長

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:URL:http://www.gakuin.tomei-nho.jp/](http://www.gakuin.tomei-nho.jp/)

### 5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:URL:http://www.gakuin.tomei-nho.jp/](http://www.gakuin.tomei-nho.jp/)

授業科目等の概要

(医療専門課程作業療法学科) 平成27年度														
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			心理学	知覚、記憶、思考、感情など様々な観点から人間の心について説明する。	1前	45	2	△		○	○		○	
○			文学	知性と感性を駆使しての文学作品の読解を通じて、言語によって他者との関係を生きる人間の生の実態に触れ、その深い理解に役立てるようにする。	1後	30	1	○			○			○
○			教育学	情報化やグローバル化がすすむ現代社会において、教育の意義や機能は絶えず変化し、問い直され続けている。本講義では、教授と学習に関する基礎的な知識を習得すると同時に、今日における「学び」とそれらの理解・支援の在り方を考え、指導者としての素地を身につけることを目標とする。	1前	30	1	○			○			○
○			社会福祉	PT・OTの対象とする患者さん、利用者さん、ご家族の立場に立って、社会保障・社会福祉の歴史、現状、今日的課題、今後の課題を学ぶ。	3前	45	2	△		○	○			○
○			生物学	理学療法、作業療法の各種専門科目を履修する為の生物学の基礎的内容を理解する。生物未履修者や「生物基礎」のみの履修者が専門科目を学ぶ上で内容が理解できるレベルになることを目標とする。	1前	30	1	○			○			○
○			物理学	物理学は現代文明を支える工学や技術の基礎である。本講義では物理学の基本的な考え方を学び、医療現場で使われるさまざまな物理現象を理解する事を目指す。	1前	45	2	△		○	○			○
○			統計学	基礎医学統計学を通して医療の場における統計学的判断とは何か、EBMとは何かを学び、将来、臨床の場における診療指針などに客観的、統計的判断力をもって臨めるような素養を身につけさせること。	2後	30	1	○			○			○
○			英語Ⅰ	医療に携わる者として、様々な職種の医療従事者が共通して知っていなければならない知識、問題などを理解し、代表的な医療系職種の英語の基礎を学ぶ。	1前	30	1	○			○			○
○			英語Ⅱ	学んでいる医療関連の講義の内容を背景知識としながら、英語を読む力をつけていくのを目的とする。又医療現場における様々な医療従事者による会話などのアクティビティを通して、用語の使い方、療法の説明等を習得する。	1後	30	1	○			○			○







○		作業療法研究法	1. 作業療法士が行う研究方法を学ぶ。2. 研究を行う上で基本的な手続きを理解し、それをグループで実施する。3. 学んだ知識を用いて、実際にグループで研究テーマを決め、データを分析し論文を完成させる。(卒業論文として完成させ製本する)	3前	30	1	○	△	○	○				
○		作業療法評価学Ⅰ	作業療法の流れをにおける「評価」の位置づけを理解する。作業療法の「評価」の種類と目的を理解する。作業療法の「評価」の基礎的技法を理解する。「評価」を記録し報告する目的を正しく理解する。	1後	30	1	○	△	○	○				○
○		作業療法評価学Ⅱ	作業療法評価学Ⅰで学習した評価の基礎的技法について、演習を通して理解を深める。バイタルサインを意味すること、各検査が実施することができる。	2前	30	1	○	△	○	○				
○		作業療法評価学 身体障害	身体障害を対象とする作業療法を実施するにあたって対象者の状態が把握できるようになるために、基本的な評価の目的、方法を学び、それらを実施できる技術を身につける。	2前	30	1	○	△	○	○				
○		作業療法評価学 精神障害	精神科作業療法の評価について学ぶ。精神保健福祉に関連する法制度について学ぶ。	2後	30	1	○		○	○				
○		作業療法評価学 発達障害	常運動発達におけるその過程を知り、理解を深める。人の姿勢や運動に関する観察や評価の視点を学ぶ。広汎性発達障害を中心に発達障害のお子さんの状態像、評価方法を理解する。正常発達について知識を身につけ理解を深め、発達領域での発達の特徴と評価を理解する。	2後	30	1	○		○					
○		作業治療学 中枢疾患Ⅰ	脳血管障害、頭部外傷の病態・機能障害について理解する事ができ、説明する事ができる。脳血管障害の治療に対する考え方および、その方法について学び、機能障害のレベルに合わせて考えることができる。	2前	30	1	○		○	○				
○		作業治療学 中枢疾患Ⅱ	慢性中枢神経疾患である進行性筋ジストロフィーに関する医学的な基礎知識を整理し、この疾患の症状や障害及び経過を理解する。また、進行性筋ジストロフィーの障害に対する作業療法の目的とアプローチについて学ぶ。神経難病、神経筋疾患、脱髄性疾患、筋疾患に関する基礎知識を整理し、主な疾患の症状や障害および経過を理解し説明することができる。神経難病の障害に対する作業療法の目的と各病期における作業療法の介入方法について説明することができる。	2後	30	1	○		○	○	○			
○		作業治療学 整形疾患Ⅰ	整形外科領域での評価と治療のポイントを理解する。身体障害の治療原理を学ぶ。代表的な整形外科疾患に対してのアプローチの原則を習得し作業療法の対象となる整形外科疾患に対してそれぞれの疾患の特性を理解した上で、適切な治療・援助ができるようになるために必要な知識を学ぶ。	2前	30	1	○		○	○	○			

○		作業治療学 整形疾患Ⅱ	脊髄損傷の病態と障害を理解し、疾患特性に応じた作業療法介入を理解する。手の外科における作業療法の解剖学、治療学について学ぶ。整形疾患（熱傷）に対する臨床像を理解し、作業療法の治療・指導・援助内容を理解する。	2 後	30	1	○		○	○	○		
○		作業治療学 内部疾患Ⅰ	内部疾患（循環器、泌尿器、呼吸器、代謝）に関する基礎知識を整理し、障害を理解する。各疾患に対する作業療法の目的とアプローチについて学び、作業療法実施上留意すべき点を理解する。	2 後	30	1	○		○	○			
○		作業治療学 内部疾患Ⅱ	循環器疾患および呼吸器疾患に対する作業療法を実践できるようにその病態を理解し、作業療法の治療、指導、援助法を修得する。また、がんのリハビリテーションについて理解し、作業療法の実際を理解する。	3 前	30	1	○	△	○	○	○		
○		作業治療学 精神障害Ⅰ	精神科作業療法において作業活動が果たす治療的役割を臨床に即した素材と体験、関連する理論や概念を通して理解する。1. 精神医学および精神科作業療法の歴史、関連法規を学ぶ。2. 精神障害分野におけるリハビリテーションを理解する。3. 精神障害分野の作業療法について理解する。	2 前	30	1	○	△	○	○	○		
○		作業治療学 精神障害Ⅱ	日本の精神医療、作業療法の歴史を振り返ることで医療者に必要な基本的姿勢を確認し、症例資料を通して作業療法開始時から初期評価までの過程を学ぶ。精神疾患・障害特性に応じた精神科作業療法の治療・援助について理解する。	2 後	30	1	○	△	○	○	○		
○		作業治療学 精神障害 演習	症例検討において、対象者の臨床像を理解し、適切な治療計画を考える。精神科作業療法領域の文献抄読を行い、精神科作業療法の理解・知見を深める。	3 前	30	1	○		○	○	○		
○		作業治療学 老年期障害Ⅰ	高齢者の特性を理解する。高齢者を取り巻く心理社会的背景を理解し老年期障害に対する作業療法の役割を理解する。	2 前	30	1	○		○	○	○		
○		作業治療学 老年期障害Ⅱ	老年期障害の作業療法のプロセスとその治療原理について学び、作業療法介入に必要な知識や援助のポイントを整理する。	3 前	30	1	○	△	○	○	○		
○		作業治療学 発達障害	発達障害分野の作業療法の実際を学ぶ脳性麻痺の様々な機能障害から生活障害に対して治療を実施できるように、類型別の発達障害の特徴を理解し、評価できるよう知識を身につけ、どのようなことが結びつくかその考え方について学ぶ。発達障害分野のOTについて臨床での事例を通して評価から治療の流れ、治療の組み立て方について学ぶ。	3 前	30	1	○	△	○		○		
○		作業治療学 認知障害	作業療法の対象疾患である脳血管障害、頭部外傷などで出現しやすい高次脳機能障害や失語について症状、評価および介入方法について学ぶ。	3 前	30	1	○	△	○	○	○		



○		臨床実習Ⅰ	身体障害、精神障害、発達障害の各分野において、基礎医学の知識をもとに障害を持つ人々に接しその身体面、心理面及び社会面等について理解を深めるとともに、種々の臨床現場を見学することにより、その機能及び組織を理解する。これらをふまえ、作業療法の流れ及び役割を把握する。	1	135	3			○	○	○	○	○
○		臨床実習Ⅱ	身体障害、精神障害の2分野において、臨床場面で対象者の情報を収集し、それらを整理・分析・統合・解釈したうえで治療計画策定までの一連の流れを経験し理解し、作業療法士としての知識、技術を高めることを目的とする。	2 後	180	4			○	○	○	○	○
○		臨床実習Ⅲ	身体障害、精神障害、発達障害もしくは老年期障害の3分野において、既習の専門基礎知識と技術を臨床の場において統合し、患者のニーズに結びつけて援助する能力を習得する。また作業療法士としての医療人・職業人としての素養および自覚を養う。	3 後	810	18			○	○	○	○	○
合計			72 科目	単位時間(		102	単位)						